



道徳だより



「およげない りすさん」

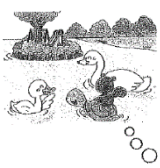


「自他の違いを理解し、お互いを認め合い、友達と仲良くたすけあう態度を養う」ことをねらいに授業を行いました。

教材文から、りすさんをのけ者にしてしまったときの気持ちと、りすさんも一緒に遊ぼうとしたときの気持ちを比較して考えました。そして、自分の生活を振り返りながら、友達と仲良くするとき大切にしたい気持ちを考えました。

☆子どもたちのワークシートから☆

☆しまへ むかいながら みんなは どんな ことを おもって いるのでしょうか。



やっぱりりすさんがいたほうがいいのだね。

やっぱりりすさんといっしょがいいな。
いっしょがすくたのし。
なにしてあそぶのかな。
あやまれよかった。

☆いろいろなともだちと なかよく するには どんな ことが たいせつでしょうか。

いいかたに気をつける。
あい手がかなしいやな気持ちにさせないようにあい手をかんがえる。もしじぶんがさされたらいやだな...だからこうしよう!とかんがえる。

じぶんからともだちにこうしてあげるといい、言うまじきで。

④ きょうのどうとくで わかったことや、いいなと思ったこと、やってみたく思ったことを書きましょう。

だれにでもやさしくして、人の思いやりがたいせつな人になんと思いました。

やっぱりともだちをハッピーにしたいのし。
ことかいいちばんいい。

